

消火訓練と無人航空機の操縦訓練を実施しました

4月21日に、県や市にも参加してもらい、消火訓練と無人航空機（以下ドローン）の操縦訓練を実施しました。

消火訓練では、消火機材の点検と使用方法の確認をした後、敷地内で放水訓練を行いました。雪融けが進む春先は、空気も乾燥するため山火事が多い季節です。そのため当支署では、3月1日から5月31日までを山火事防止運動月間とし、支署内の体制整備や関係機関との連携強化を行っています。消火機材を使用する機会が無いことが一番ですが、実際に山火事が発生した際には迅速に使用できるよう、職員一同真剣に取り組みました。

私も放水を体験しましたが（写真右）、十分な勢いで放水するためには対象にかなり近づかなければならず、消火活動に従事している消防隊や消防団の方々に頭の下がる思いがしました。



消火訓練の後は、岩手県、遠野市役所、遠野市消防本部の各職員も加わり、ドローンの操縦訓練を行いました。時折心地よい風が吹く中、当支署に配備されている3機を用いて、実際に飛行させながら操縦方法を学びました。この4月に採用され、初めてドローンを間近で見た私も、恐る恐るコントローラーを操作しながら、撮影、録画といった機能も使えるようになりました。



林野庁では、ドローンをはじめとするICT機器を用いた作業の効率化を推進しており、当支署においても、シカによる食害防止のため、これまで人が散布していた薬剤をドローンから散布する試験的な取組に協力しています。森林で飛行させることは今回より難しいと思いますが、訓練の成果を出したいです。



職員同士で教えあいながら、関係者との情報交換も活発に行われていました。千葉県出身の私にとっては興味を引かれる話題が多く、公務以外でも積極的に地域の方々と交流していきたいと思いました。

仕事のことも遠野のこともまだ分からないことばかりですが、今回のような機会を活かしながら、森林と地域に貢献できる職員になれるよう成長していく所存です。

